

wakuLic

[発行元]

リック(株)営業企画部
2023年4月発行

今月の注目情報の各情報は、リックオンラインサイトでもご覧いただけます。

<http://www.lic-net.jp/>



第52回 店舗総合見本市 JAPAN SHOP 2023 展示会レポート

第29回 建築・建材展 2023

掲載製品のご用命はリックまで！

【開催概要】 会期:2023年2月28日(火)~3月3日(金) / 会場:東京ビックサイト / 主催:日本経済新聞社



今回で52回目の開催となる「JAPAN SHOP」は「未来を拓くデザインと技術」をテーマに次代のニーズを先取りした新しい製品やサービスが多数展示されていました。同時開催の「建築・建材展」では様々な建材、設備機器、設計、工法、施工管理や3Dなどのソフトウェアまで一堂に展示されていました。本誌では、多くの出展メーカーの中から、当社の取り扱いが多いメーカー様をピックアップしてご紹介します。

招待状や看板に出ていた、インパクトのあるお多福は何かを表現しているのかと思い、主催に質問してみました。しかし、逆にすると何かが見える!?というような仕掛けは無いとの事でした。

「建築・建材展」と「国際家具見本市」に同日2ヶ所で出展 アシスト



アシストは「建築・建材展」と「国際家具見本市」の2ヶ所で同時出展。「建築・建材展」では、馴染み深いノンスリップ金物の中から、表面カラー部分が摩耗し下地層部の色が見えてくることで交換時期をお知らせするツートンタイヤのノンスリップ(写真:1)や、映画館の通路と座席前の段鼻をキレイに納めることができる組み合わせの提案(写真:2)などをご紹介いただき、改めてアシストの商品力を感じました。「AFOLA」の展示ブース(写真:3)では、新たにラインアップされるステンレスのノンスリップ金物を紹介いただきました。アルミ製に比べて、さらに細く薄い加工が可能のため、よりスタイリッシュな段鼻が演出できます。(写真:4)

その他の「AFOLA」製品をこちらでも紹介しています。▶



ミニマルデザインに特化した潔い展示 ミヅシマ工業



必要最低限の機能を備えたミニマルな環境用品「Mseries (Mシリーズ)」に特化した潔い展示ブースでした。2018年に当シリーズが登場して以降、順次Mシリーズ製品が発表され続けています。全体を通して表現が一貫されているため、必要に応じて当シリーズを揃えていく事が可能です。今回、ミヅシマ工業では初めてとなる室内用のベンチもラインアップされました。

「Mseries」についてはこちらでも紹介しています。▶



飲食店舗にピッタリな製品をピックアップ

立川ブラインド工業



飲食店舗への提案として、間仕切「プレイス」や「ブリア ペア」が展示されていました。上の写真では、間仕切で指を挟まない体験をして安全・安心を感じていました。新製品のハニカムスクリーン「ブリア ペア」は、1枚のスクリーンとハニカムスクリーンがペアになっており、採光や断熱を自在に調整できる1台で2役の優れたものです。

ワイヤーラックの品質の良さを可視化

エレクター



他社品もよく目にするワイヤーラックですが、エレクター社の品質の高さは圧倒的です。会場では、それを示すため「72時間塩水噴霧試験」の結果が紹介されていました。結果はエレクター製品にサビはほぼ見られず、他社品はかなりのサビが付着しています。その理由は、他社品はニッケルメッキが1層なのに対し、エレクター製品はニッケルメッキ2層とクロームメッキ1層が施されているためです。長く利用する事を考えるとエレクターのワイヤーシェルフをおすすめします。

ストーンヘンジと環境保全 アイカ工業



アイカのジョリパッドは、発売以来50年にわたる信頼の実績があり、改良が重ねられ塗材のトレンドをリードしています。そんなジョリパッドで表面を仕上げた巨大な「ストーンヘンジ」がとも目を引くブースでした。そして、同社のメラミン化粧板は、環境にやさしいバイオマス原料を導入(50%)し、バイオマークを取得。環境にやさしい製品を目指しています。ブースではバイオマス度75%の化粧板も参考展示されており、最終的に100%を目指すとの事です。

コルクは「炭素固定化」でとてもエシカルな建材です

東亜コルク



トッパーアートコルクの風合いも、温かみがあってとても素敵です。

環境にやさしい建材といえばコルクです。その理由が「炭素固定化」。「炭素固定化」とは、二酸化炭素(CO2)を別のものに変えることで、植物の「光合成」も分かりやすい例と言えます。コルク樹皮の採取後、通常の3~5倍のCO2を吸収しながら再生し、繰り返し15~20回も採取できます。改めて持続可能なエシカル建材として注目が集まっています。

詳しくはこちら▶



子ども、施設スタッフにやさしい新製品

水上 - omoio -



トイレスペースやベビールーム、キッズコーナーなどを扱う水上の「オモイオ」ではキッズデザイン賞とグッドデザイン賞をダブル受賞した新製品「収納式多目的シート」を紹介。一見普通の収納シートですが、ガススプリングにより開閉がスムーズに行え、シート面を外せるのでベルトや生地が劣化した場合のメンテナンスも可能です。(写真:1)尚、同社ではキッズファニチャーや、キッズスペースもオーダーで承ります。(写真:2)

家具メンテ専用カスタムカーでユーザーの元にうかがいます

カリモク家具



同時開催の「国際家具見本市」へ出展していたカリモク家具の展示は、なんと車。この車は、キャンピングカーなどのカスタム業者に特注した、家具メンテナンス専用車で、全国に11台用意しているとの事。この車でメンテナンススタッフがユーザーの元へ出向き、可能な限りその場で修理していただけるそうです。未永く使い続けることのできる高品質な家具を作り続けるカリモク家具だからこそできる取組だと感じました。

できることなら回避したい!



ありがちな事例をご紹介します



取れない巾木で大慌て

一見普通の巾木に見えても、壁に埋まっていて取れない巾木があります。洗面台を据付ける際、それを知らずに「ソフト巾木に交換」と簡単に考えていたら現場から「巾木が取れない!」と連絡が!現場で巾木を見ると、なんと取れない巾木でした。結局、巾木は既存のままで新しい洗面台を切欠いて据付けました。



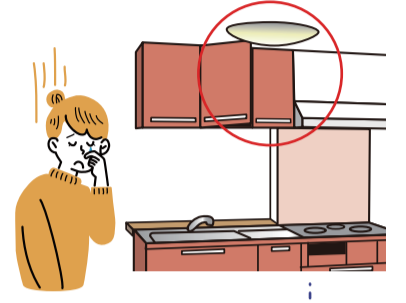
どこまで天井?

マンションの内装工事で天井のクロスを決めたはいいけど、複雑に梁が入っており、施主様がどこまでを「天井のクロスで」と言われているのかわからなくなった事がありました。施主様と現地で共有する事が重要ですね。



キッチンの吊戸棚の扉にシーリングが当たる!

カタログから、施主様がご希望されたキッチン用のシーリングライトを選定。その後、別の日に希望のキッチンを選定いただいた時には、照明の大きさや厚みを確認せず吊戸棚を決定しました。現場では、天井と棚のスキマを埋める幕板が意外と低く...残念!!シーリングライトに当たってしまいました。その後、結局ダウンライトに変更していただきました。



専門的な略称で施主様が「・・・?」となっている。

CF-シーエフ-



Best Answer
洗面所とトイレの床におすすめしたクッションフロアの事です。塩化ビニールでできたシートで、水をはじくのでお手入れがしやすいですよ。

※東リ「CFシート」の商品名から、一般的な総称になったと言われています。

FL-エフエル-



Best Answer
フロアレベルの略で、仕上げ材を貼った後の床面の高さです。

東リの床材にちょっと詳しい施主様

SL-エスエル-



Best Answer
機関車ではなく、スラブレベルといえます。仕上げ材の下にあるコンクリートの構造床の高さの事です。

施主様のご子息

PS-ピーエス-



Best Answer
パイプスペースの略で給排水やガス管などが通る空間の事です。マンションでは共用部分になりますので、移設はできません。

施主様

GL-ジーエル-



Best Answer
グラウンドラインではなく、グラウンドレベルの事です。地面(地盤)の高さの事です。

施主様

床の断面図



一部参考: リフォーム産業新聞社「リフォームガ」

ハイムテキスタイルトレンド 2023-24

HEIMTEXTIL TRENDS 2023-24



世界最大のテキスタイル見本市「ハイムテキスタイル 2023」が1月にドイツで3年ぶりに通常開催され、世界129カ国から4万人を超える来場者が訪れました。今年「TEXTILES MATTER ~テキスタイルマター~」をテーマとして、繊維産業全体で環境負荷を低減し循環型の産業を目指す方向性が掲げられました。そして、そのテーマが右の4つのカテゴリーで設定されました。全てのカテゴリーが、2022年のトレンドの1カテゴリーにもあった「DEEP NATURE」を掘り下げて広げたような、サステナブルに特化したトレンドでした。

Make and Remake



とても鮮やかなカラーを使用。古着のリメイクやパッチワークを用いて新たな製品を産み出す。



Continuous



再資源化の過程では、ベーシックなカラーがベースとなるが、様々な素材が混じり合う事で所々に濃い色が現れている。



From Earth



優しくも彩り豊かなカラーパレットを使用して、自然界の偶然性や不完全さを表現。



Nature Engineers



最新のテクノロジーと素朴な自然素材を融合させることにより、未来的でエレガントなデザインを表現。

